

6 相手方は、 どのようにし たいと考えて いるようです か。								
(当事者別に記入)	申 立 人				相 手 方			
7 収入につい て記入してく ださい。	1 月収(手取) 年収 ボーナス年 回 年額	円 円 円	1 月収(手取) 年収 ボーナス年 回 年額	円 円 円	2 なし	2 なし 3 不明		
8 学歴につい て記入してく ださい。	1 大学院	2 大学	3 短大	1 大学院	2 大学	3 短大		
	4 専門学校	5 高校	6 中学 (ア 卒業 イ 中退)	4 専門学校	5 高校	6 中学 (ア 卒業 イ 中退)		
9 住居の状況 について記入 してください。	1 自宅(実家も含む。)	1 自宅(実家も含む。)			2 借家(家賃 月額 円)	2 借家(家賃 月額 円)		
	3()	3()						
10 資産等の有 無について記 入してくださ い。	1 不動産	ある	ない	1 不動産	ある	ない		
	2 預貯金	ある	ない	2 預貯金	ある	ない		
	3 車	ある	ない	3 車	ある	ない		
	4 負債	ある	ない	4 負債	ある	ない		
	(内容)			(内容)				
	5 その他()			5 その他()				
11 職業以外の 援助等があれ ば記入してく ださい。	1 親兄弟からの援助	毎月	円	1 親兄弟からの援助	毎月	円		
	2 生活保護	毎月	円	2 生活保護	毎月	円		
	3 児童扶養手当	毎月	円	3 児童扶養手当	毎月	円		
	4 相手方から			4 申立人から				
	毎月・たまに・過去に	円	円	毎月・たまに・過去に				
12 同居してい る家族につい て記入してく ださい。	氏 名	年齢	続柄	職業・学籍	氏 名	年齢	続柄	職業・学籍

<p>13 相手方による暴力等の有無について記入してください。</p>	<p>1 相手方は、家庭裁判所でも暴力を振るう恐れがある。 人前でも振るう。 しらぶでも振るう。 酒が入ると振るう。 ストーカー的行為を受ける。 暴力の程度 _____</p> <p>_____</p> <p>ない。</p> <p>2 相手方につき（ただし、相手方と婚姻関係を解消している時には、婚姻関係時において）、配偶者からの暴力の防止等に関する法律（DV法）による保護命令の申立てを 平成 年 月 地方裁判所 支部になした。 認容された。 準備中である。 考えていない。 申し立てたことはない。</p>												
<p>14 家庭裁判所に気を付けて欲しいことがあれば、にチェックをして理由を記入してください。</p>	<p>次の事項を相手方に秘密にしてほしい。</p> <p>申立人の 住所 呼出しのための連絡先 電話番号 (理由) 暴力を振るわれる。 子供が連れ去られる。 嫌がらせの電話を受ける。 その他 _____)</p> <p>相手方の性格、行動傾向に問題があるので、対応に注意を要する。 (理由)</p> <p>相手方とは、家庭裁判所の中で顔を合わせたくない。 (理由)</p> <p>その他</p>												
<p>15 調停期日の差し支え日等があれば書いてください。</p>	<table border="0"> <tr> <td>申立人の</td> <td>差し支え日</td> <td>希望日</td> <td>曜日</td> <td>午前</td> <td>午後</td> </tr> <tr> <td>相手方の</td> <td>差し支え日</td> <td>希望日</td> <td>曜日</td> <td>午前</td> <td>午後</td> </tr> </table>	申立人の	差し支え日	希望日	曜日	午前	午後	相手方の	差し支え日	希望日	曜日	午前	午後
申立人の	差し支え日	希望日	曜日	午前	午後								
相手方の	差し支え日	希望日	曜日	午前	午後								
<p>申立人の日中の連絡先</p> <p>申立書記載の次の電話 携帯・住所・呼出しのための連絡先・勤務先・実家・その他 (_____)</p> <p>申立人に電話連絡の際には、家庭裁判所と名のらないでほしい。 申立人に書類を郵送の際には、家庭裁判所の庁名のない封筒にしてほしい。</p>													
<p>相手方の日中の連絡先</p> <p>申立書記載の次の電話 携帯・住所・呼出しのための連絡先・勤務先・実家・その他 (_____)</p> <p>相手方に電話連絡の際には、家庭裁判所と名のらないでほしい。 相手方に書類を郵送の際には、家庭裁判所の庁名のない封筒にしてほしい。</p>													